



設定ガイド

● 使い方, リファレンス

Integration Driverの簡単な使い方と、プロパティ及びツールについて説明します。

● 制限事項

Integration Driver の制限事項について説明します。



ご注意

- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- ご利用いただいた結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して発生した損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について



MS-DOS®、Microsoft®、Win32®、Windows®、Windows Vista®、Visual Studio®、Visual Basic®、Visual C++®、Visual C#® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth及びBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG. Inc. の登録商標です。

その他の製品名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。

記号について

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

 注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。 この表示を無視して間違った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や関連事項を記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度等において高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全を維持するためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を行うなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただきますようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされている用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断頂きますようお願いいたします。



もくじ

・ NPI Integration Driverの使い方, リファレンス

ープロパティ	ー	6	
ープロパティ	ー 全般	7	
ー印刷設定	ー レイアウト	8	
ー印刷設定	ー 用紙/品質	9	
ー印刷設定	ー 詳細設定	10	
ー印刷設定	ー 書式設定	11	
ー印刷設定	ー 書式設定	ー 簡易設定	12
ー印刷設定	ー 書式設定	ー 詳細設定	14
ー印刷設定	ー 書式設定	ー ドキュメント操作画面	15
ードロアー制御		16	
ープロパティ	ー 共有	18	
ープロパティ	ー ポート	19	
ープロパティ	ー 詳細設定	20	
ープロパティ	ー プリンタ設定	22	
ープリンタ設定	ー ステータスビューア	23	
・ 拡張情報		24	
ープリンタ設定	ー プリンタの設定		
・ Printerオプション (メモリスイッチ)		26	
・ Printerオプション (ブラックマーク)		27	
・ Printerオプション (ラベル)		29	
・ Printerオプション (用紙の頭出し)		31	
・ Printerオプション (NVイメージ登録)		33	
・ Printerオプション (User Code Page登録)		37	
・ Printerオプション (F/W ダウンロード)		39	
・ Controlオプション		42	
ープリンタ設定	ー テストプリント	44	
ーカスタム用紙の作成		46	
制限事項		47	



はじめに

NPI Integration Driver(以降Integration Driver)は、日本プリメックス社製のプリンタ製品のWindowsドライバーです。

Integration Driverは、POS・KIOSK用途向けに、Integration Driver APIでプリンタの制御を行う事ができます。

注意

本書では Windows 10 の画面で説明をしています。
他のOSをご使用の場合は、読み換えてお使いください。
尚、ご利用になるプリンター毎に、プロパティや、
ツールの表示内容が変わります。

Windows対応バージョン

Windows10 以降 32bit/64bit 対応

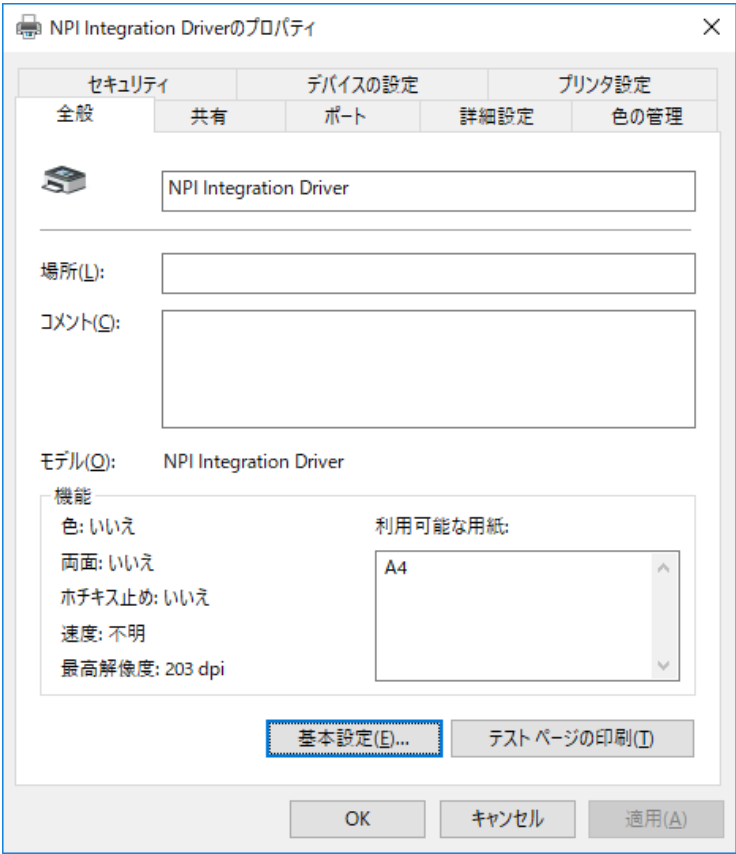
お問い合わせ先

弊社のホームページを参照してください。

<http://www.primex.jp/>

プロパティ

プロパティでは以下の設定をします。

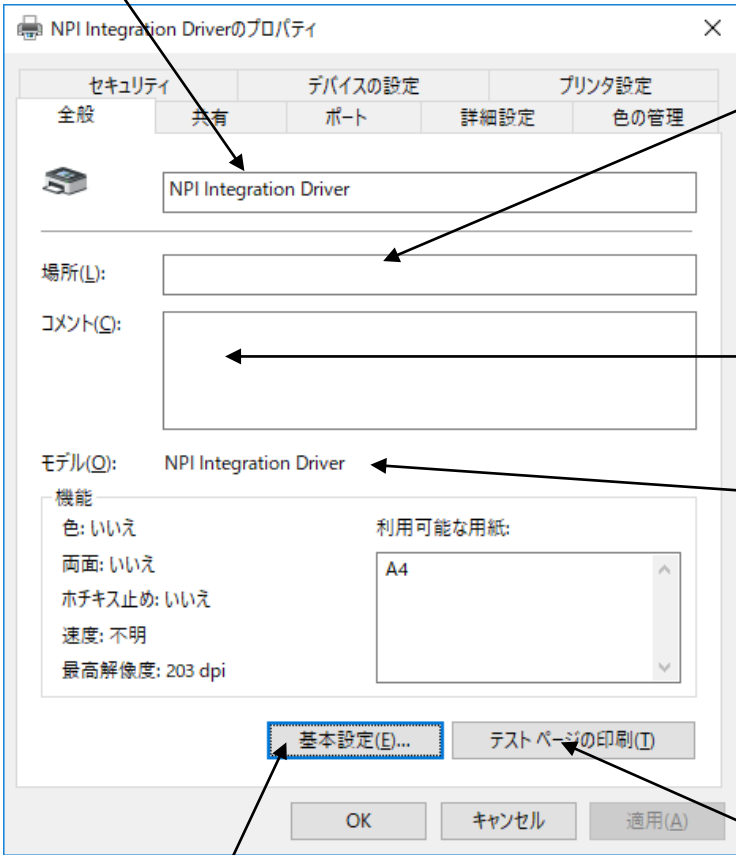


タブ	概要
全般	プリンタ名や印刷設定、テスト印刷を行ないます。
共有	プリンタ共有の設定をします。
ポート	ポート設定をします。
詳細設定	印刷時の詳細設定をします。
色の管理	表示色の設定をします。(使用しません)
セキュリティ	Windows のセキュリティ設定をします。
デバイスの設定	デバイスの給紙方法と用紙の割当を指定します。 (NExDでは使用しません)
プリンタ設定	ドライバーのバージョンの表示と、プリンタ設定ウィンドウを表示します。

プロパティ – 全般

プリンタ名の表示/変更、印刷設定画面の表示、テストページの印刷が行なえます。

プリンタ名



プリンタの設置場所
を入力できます。

プリンタドライバの
コメントを入力できます。

プリンタドライバ名

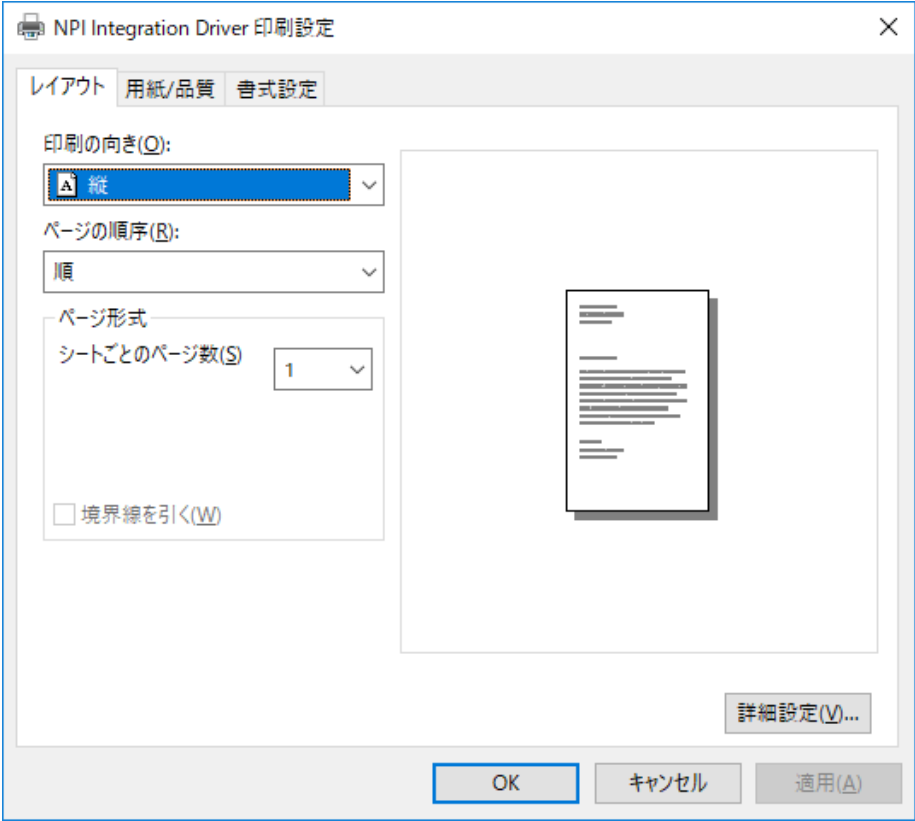
印刷設定画面が表示されます。

Windows のテスト
印刷を実行します。



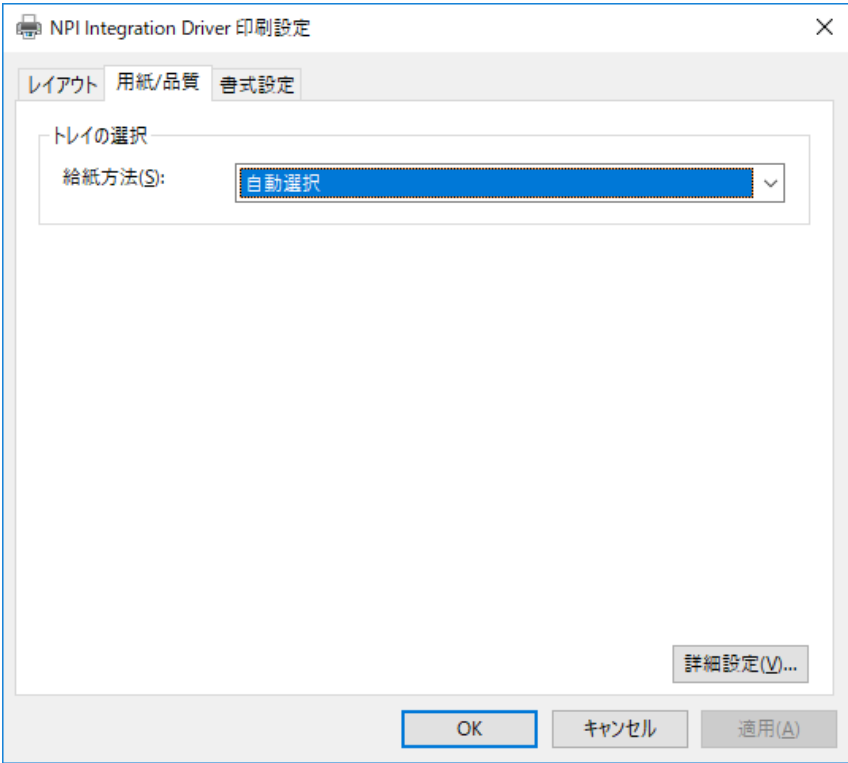
プリンタ名を変更した時には、PCの再起動を行うか、
コントロールパネル→管理ツール→サービスから、
Print Spooler（サービス名：Spooler）を再起動してください。

印刷設定 – レイアウト



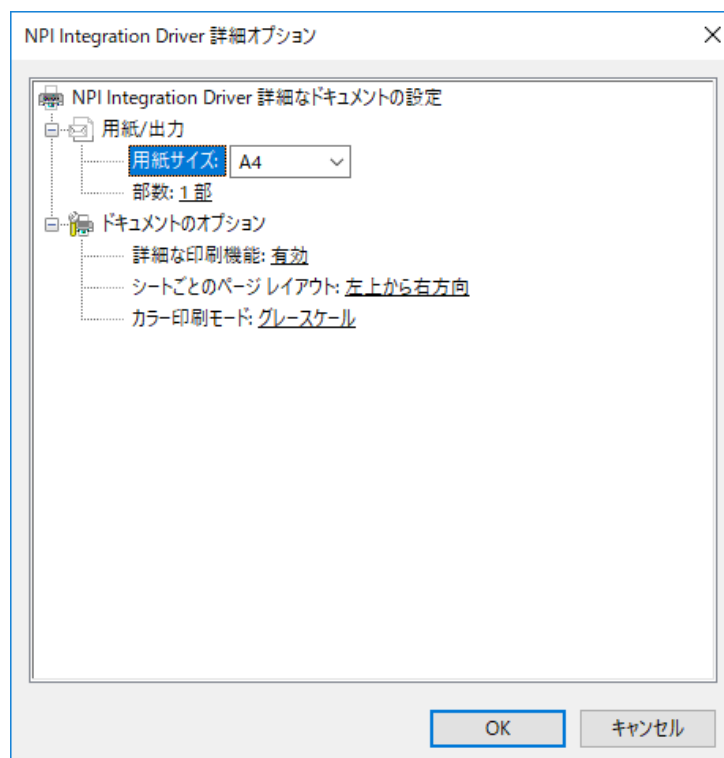
項目名	値
印刷の向き	縦(用紙に対して縦方向に印刷します)
	横(用紙に対して横方向に印刷します) テキストフォントは使用できません。 Windowsフォントを使用してください。
ページの順序	順(1ページ目が最初に印刷されます)
	逆(1ページ目が最後に印刷されます)
シートごとのページ	1(通常はこちらを選択してください)
	2,4,6,9,16(サポートされていません)

印刷設定 — 用紙/品質



項目名	値
給紙方法	自動選択 (通常はこちらを選択してください)
	Roll Paper Holder (ロール紙ホルダーから印刷します)

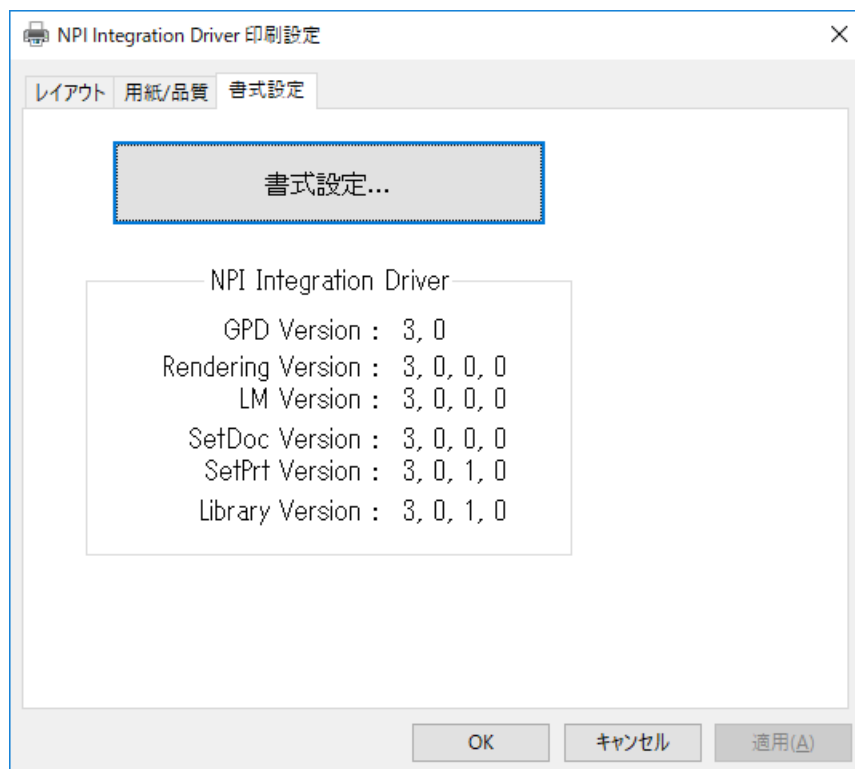
印刷設定 — 詳細設定



項目名	値
用紙サイズ	プリンタにセットされている用紙を選択してください。
部数	コピーする場合に部数を設定してください。
詳細な印刷機能	有効(通常はこちらを選択してください)
	無効(印刷向き、順序、シート毎のページ、部数がリセットされます)
カラー印刷モード	モノクロ(イメージデータは完全な2値画像でご利用ください)
	グレースケール(書式設定の色の管理により2値化処理が行われます) (印字券面長が正しく処理されない場合があります)

印刷設定 — 書式設定

書式設定...ウィンドウの起動と、ドライバーの各種ファイルバージョンを表示します



印刷設定 — 書式設定 — 簡易設定



項目名		値
簡易設定		指定された設定に一括変更します
	58mm ロール紙 設定	用紙: 52mm スケール: 100% 回転: 0° 印字通知設定: フラグ+通知有 または フラグ+通知+溜込 ページ終了時の動作⇒フィード: カット位置を指定 カット: フルカット



項目名	値
簡易設定	指定された設定に一括変更します
80mm ロール紙 設定	用紙: 72mm スケール: 100% 回転: 0° 印字通知設定: フラグ+通知有 または フラグ+通知+溜込 ページ終了時⇒フィード: カット位置を指定 カット: フルカット
A4-58mm縮小印刷	用紙: A4 スケール: 27% 回転: 0° 印字通知設定: フラグ+通知有 または フラグ+通知+溜込 ページ終了時⇒フィード: カット位置を指定 カット: フルカット
A4-80mm縮小印刷	用紙: A4 スケール: 38% 回転: 0° 印字通知設定: フラグ+通知有 または フラグ+通知+溜込 ページ終了時⇒フィード: カット位置を指定 カット: フルカット
変更前に戻す	設定内容を変更前の状態に戻します。
初期設定に戻す	用紙: A4 スケール: 100% 回転: 0° 色の管理: 2値化

印刷設定 — 書式設定 — 詳細設定

カットイメージ

Job1 Page1
Job1 Page2
Job2 Page1
Job2 Page2

色の管理

- ☒ 2値化
- ☐ パターニング
- ☐ ハーフトーン
- ☐ 誤差拡散
- ☐ 未変換

イメージの管理

スケール(%) 100 回転 0

位置調整(X) 0 位置調整(Y) 0

プリンタ初期化 True 印刷基準位置

速度 品質

印字スピード 分割印字

用紙タイプ Invalid

濃度 LEDベゼル動作 Invalid

プレゼンター動作 Invalid

自動排出/回収時間 Invalid Sec

プリンタ接続時送信コマンド

印字通知設定

ドキュメントの操作

- 印字開始時の操作
- ページ開始時の操作
- ページ終了時の操作
- 印字終了時の操作

※使用できないプロパティはInvalidと表示されます

キャンセル OK

項目名	値
スケール	25%～255%
回転	0° /90° /180° /270°
位置調整(X)	-127～128迄設定します
位置調整(Y)	-127～128迄設定します
プリンタの初期化	True (通常はこちらを選択してください) False (初期化が望ましくない時)
印字基準位置	Left,Center,Rightから選択します
印字スピード	印字スピード設定(速度優先⇄印字品質優先)5段階
分割印字	1～3から選択します
用紙タイプ	連続用紙,ラベル用紙,BM用紙から選択します
濃度調整	65～130%まで設定します
LEDベゼル動作	Puttern0～Puttern2から選択します
プレゼンター動作,自動排出/回収時間	プレゼンターの設定です。詳細は?マークからご覧ください
プリンタ接続時送信コマンド	プリンタが接続され、認識後送信するコマンドを設定します
印字通知設定	印字通知設定を選択します
色の管理	グレースケールデータの2値化変換方法を選択します

印刷設定 — 書式設定 — ドキュメント操作画面

項目名	値
コマンド送信	カット前/後の送信するコマンドを指定します
固定NV印刷	カット前/後の固定NV印刷を指定します
可変NV印刷	カット前/後の可変NV印刷を指定します
階調NV印刷	カット前/後の階調NV印刷を指定します
マークセンシング	BMセンシングの指定をします
BMセンシング(切替)	ON/OFFを指定し、dot単位でセンシング後の紙送りを指定します
バックフィード	バックフィード数をmm単位で指定します(0～31.875mm)
フィード	フィード数をmm単位で指定します(0～31.875mm)
カット	カット方法を選択します
ドロアーオープン	ドロアーオープン方法を選択します
ON Time OFF Time	ドロアーオープン ON Time、OFF Time を指定します
設定内容クリア	設定内容をクリアします。
キャンセル	設定内容を保存せず、本画面を閉じます
OK	設定内容を保存して、本画面を閉じます

ドロアー制御

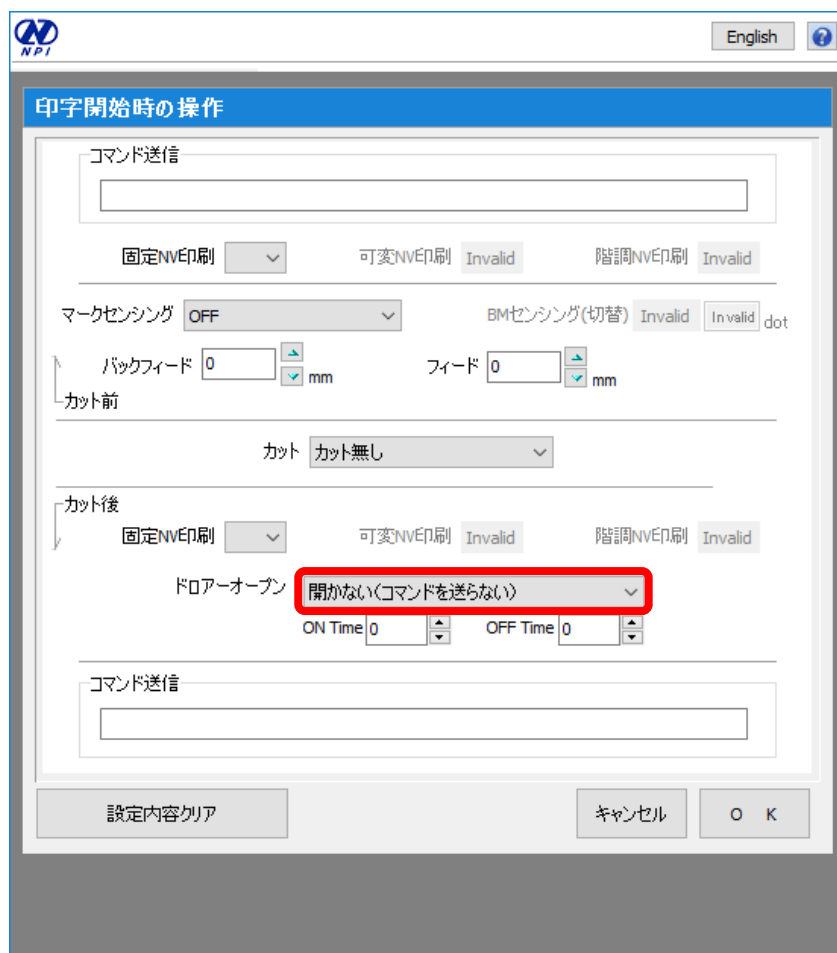
ドロアーの制御には、以下の方法があります。

- ・ プリンタプロパティで設定 : ドキュメントやページの前後でドロアーを制御します。
- ・ APIを利用してESC/POSコマンドでドロアーを制御します。

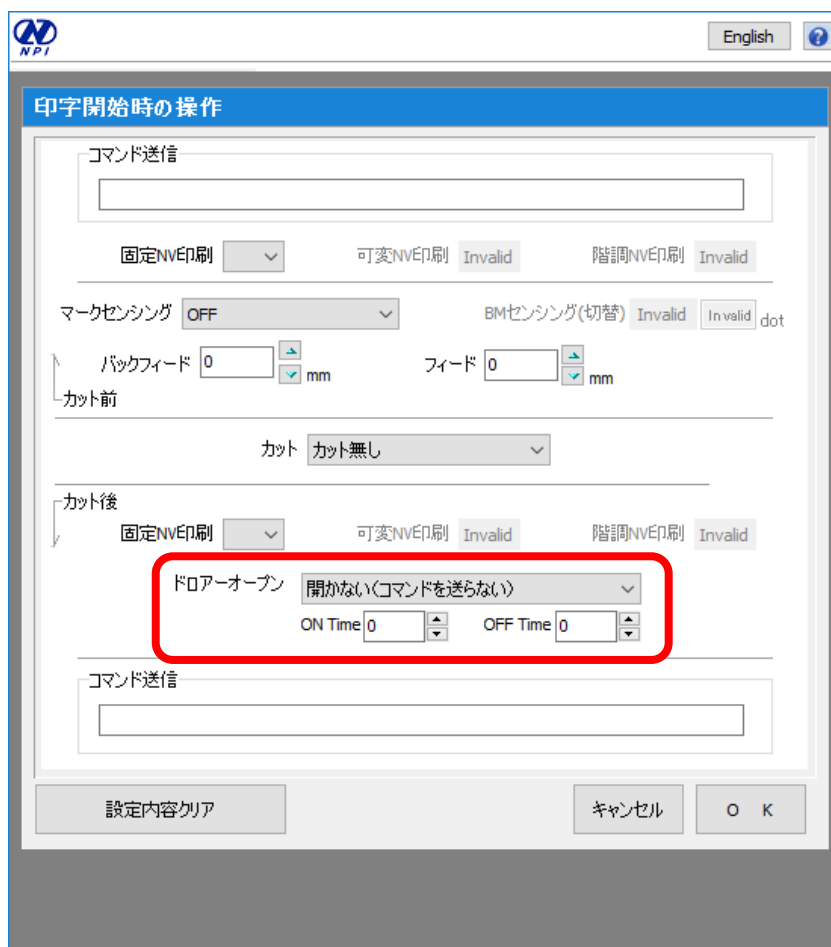
プリンタプロパティで設定

1. 書式設定ウィンドウを開き、ドロアーを制御したいタイミングの操作ボタンをクリックします。

- ・ 印字開始時の操作
- ・ ページ開始時の操作
- ・ ページ終了時の操作
- ・ 印字終了時の操作



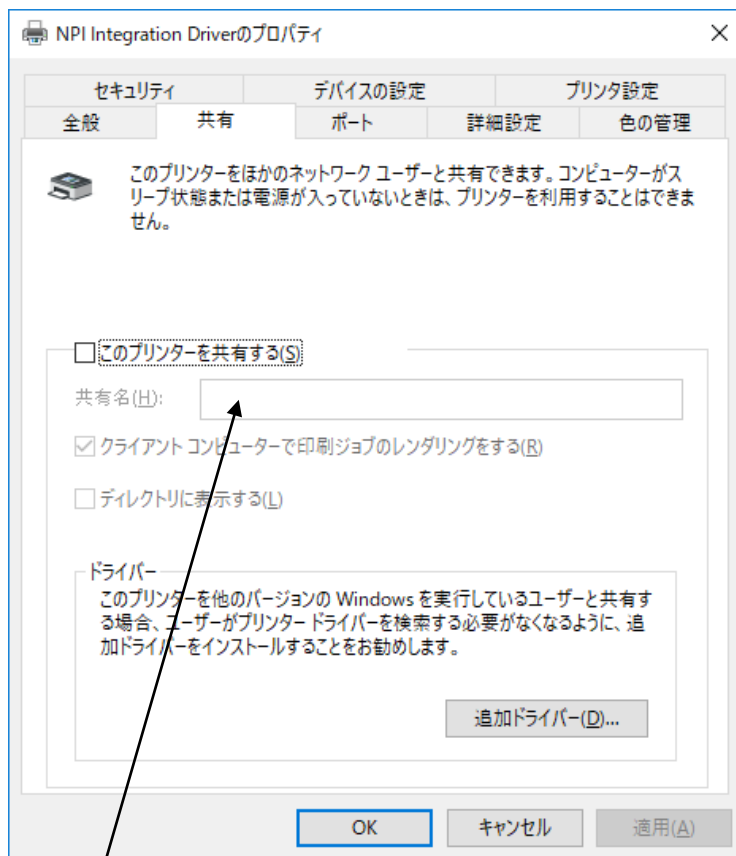
2. ドロアーオープンダイアログからドロアーオープン1(2pin)/ドロアーオープン2(5pin)を選択し、ON Time、OFF Timeを指定します。



3. アプリケーションから印字を行うと指定したタイミングでドロアーが制御されます。

プロパティ — 共有

プリンタ共有を設定します。



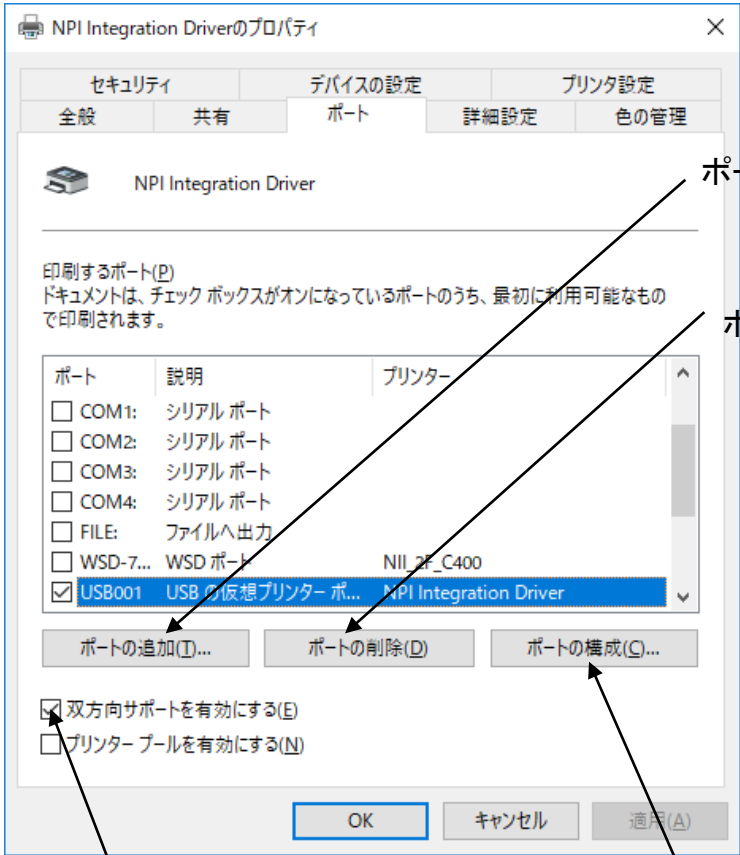
プリンタの共有名を指定します。

注意

プリンタ共有を利用して印刷する場合には共有元で「プリンタ設定 → ドライバの設定」タグ内のプリンタ機能情報エクスポートを実行して作成したファイルを、共有先で「プリンタ設定 → ドライバの設定」タグ内のプリンタ機能情報インポートを実行してインポートしてください

プロパティ – ポート

使用するポートの設定を行います。



パラレルポートを利用する時以外外さないでください
正常に動作しなくなります



「Standard TCP/IP Port」の作成はここから行わないでください。
Setupツールからポート作成してセットアップしてください

プロパティ — 詳細設定

印刷時の詳細設定を行ないます。初期設定でお使いください。

NPI Integration Driverのプロパティ

セキュリティ

デバイスの設定

プリンタ設定

全般

共有

ポート

詳細設定

色の管理

☒常に利用可能(L)

☐開始(B)0:00終了0:00

優先順位(Y):1

ドライバー(Y):NPI Integration Driver新しいドライバー(W)...

☒印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う(S)

☐全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る(I)

☒すぐに印刷データをプリンタに送る(J)

☐プリンタに直接印刷データを送る(D)

☐一致しないドキュメントを保留する(H)

☒スプールされたドキュメントを最初に印刷する(B)

☐印刷後ドキュメントを残す(K)

☒詳細な印刷機能を有効にする(E)

標準の設定(E)...

プリントプロセッサ(N)...

区切りページ(O)...

OK

キャンセル

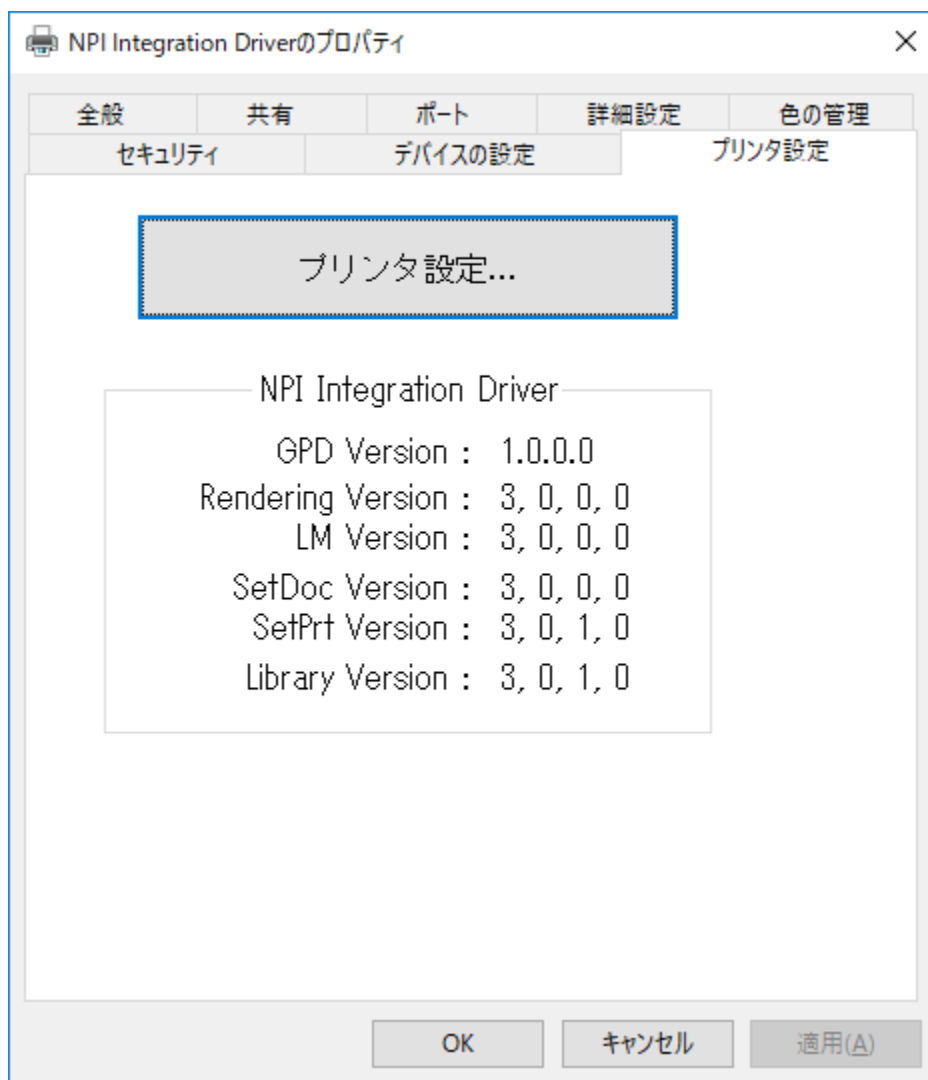
適用(A)

項 目	説 明
常に利用可能 (L)	プリンタをいつでも使えるようにします。
開始 (B)/終了	プリンタの利用時間を制限します。 制限されている時間中はスプーラに溜まります。
優先順位 (Y)	現在の優先度の設定が表示されます。 優先度の高いドキュメントが優先度の低いドキュメントより先に印刷されます。
ドライバ (V)	インストールされているプリンタドライバーがリスト表示されます。
印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行なう (S)	ドキュメントを印刷する前にスプールする設定にします。
全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る (I)	ドキュメントの最終ページをスプールしてから印刷を開始するように設定します。

項 目	説 明
すぐに印刷データをプリンタ に送る (I)	ドキュメントの先頭ページをスプールしたら印刷を開始するように指定します。
プリンタに直接印刷データを送る(D)	ドキュメントをスプールせずにプリンタに送信します。
一致しないドキュメントを 保留にする (H)	ドキュメントをプリンタに送信する前に、スプーラでプリンタの設定を確認し、ドキュメントの設定と照合し、情報が一致しない場合は、ドキュメントはスプーラに保留されます。
スプールされたドキュメント を最初に印刷する (R)	<p>「スプールされたドキュメントを最初に印刷する」が ONの場合 スプーラが次に印刷する順序を判断する際にスプールの完了した文書の方が その時点でスプール中の文書より優先順位が低い場合でもスプールの完了した文書を優先的に印刷します。またスプールの完了している文書がなかった場合 スプーラはスプール中の文書の中で大きい文書を優先的に印刷します。</p> <p>「スプールされたドキュメントを最初に印刷する」が OFF の場合 スプーラは優先順位に従って文書を印刷しますので 仮にスプールの完了した文書があったとしても スプール中の文書の方が優先順位が高い場合 スプール中の文書を優先的に印刷します。</p>
印刷後ドキュメントを残す (K)	印刷した後にドキュメントは印刷スプーラに残るため、すぐに再印刷を行うことができます。
詳細な印刷機能を有効にする (E)	ドキュメントはメタファイル データ型 (EMF) を使って送信され、ページの順序、ブックレット印刷、およびシートごとのページ数などの詳細な機能を利用できるようになります。互換性の問題が生じた場合は、このオプションを無効にします。
標準の設定	標準として印刷設定を行なう場合にクリックします。
プリントプロセッサ	データの種類を指定するときにクリックします。通常は、既定のプリント プ ロセッサやデータの種類を変更する必要はありません。
区切りページ	使用できません

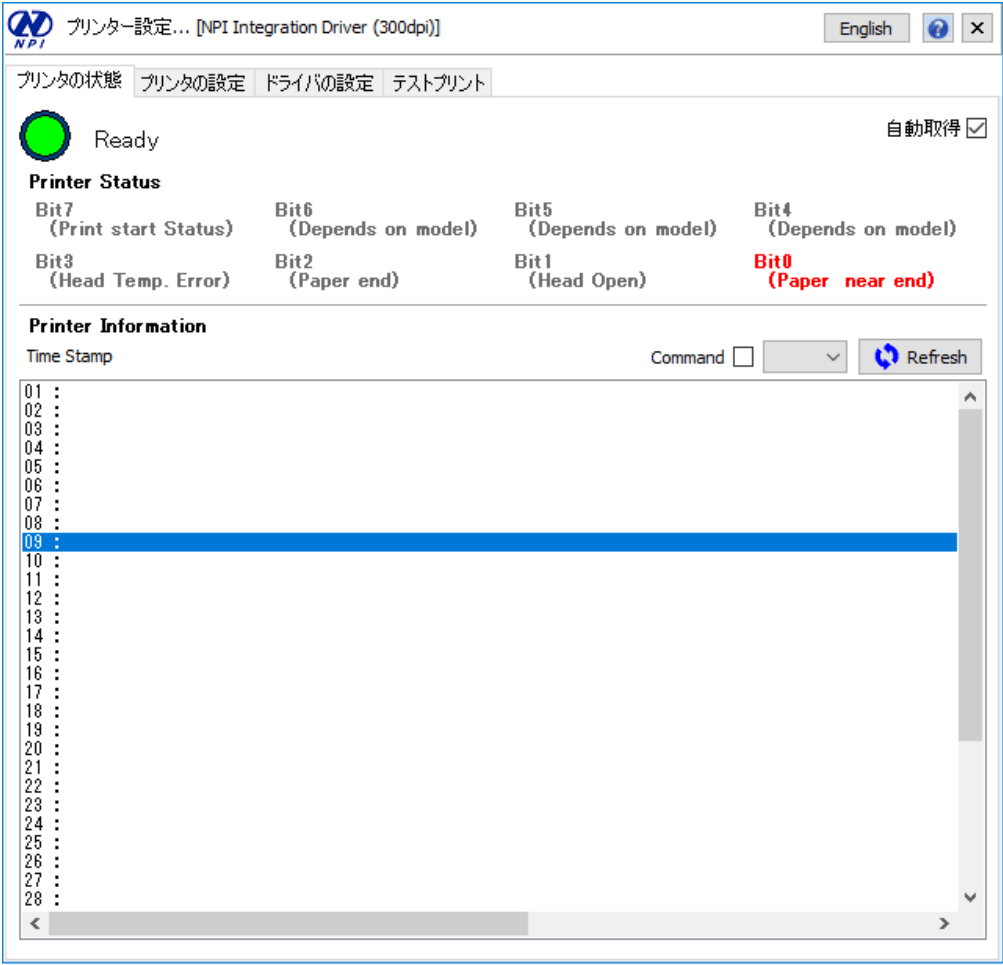
プロパティ – プリンタ設定

プリンタ設定ウィンドウの起動と、ドライバーの各種ファイルバージョンを表示します



プリンタ設定 – ステータスビューア

プリンタの状態及びプリンタの情報を表示します。



項目名	値
自動取得	50msec間隔で標準ステータスを更新します。
Time Stamp	選択した拡張情報の取得時間をWindowsを起動してから経過した時間で表示します
Command	拡張情報の再取得において、要求コマンドを発行します。
Refresh	拡張情報の再取得を行います。

拡張情報: 詳細内容はプリンタの製品仕様書を参照してください。

種別ID	データサイズ	内 容
種別1	4 バイト(固定)	拡張ステータス 1バイト目:未定義 2バイト目:未定義 3バイト目:未定義 4バイト目(下位4ビット):プリンタ受信バッファ残量[KBYTE]
種別2	32バイト(デリミタ)	モデル名
種別3	8 バイト(固定)	F/Wバージョン
種別4	8 バイト(固定)	Bootバージョン
種別5	4 バイト(固定)	メモリスイッチ設定情報
種別6	4 バイト(固定)	ヘッド通電ドットライン数
種別7	4 バイト(固定)	走行ドットライン数
種別8	4 バイト(固定)	カット回数
種別9	16バイト(固定)	<ユーザーメンテナンスカウンタ:ヘッド通電ドットライン数, 走行ドットライン数,カット回数,予備>
種別10	16バイト(固定)	プリンタ機能情報
種別11	64バイト(デリミタ)	<汎用情報 63バイト> 0バイト目=サブID 1~63バイト目=汎用情報(サブIDは1以上)
種別12	32バイト(デリミタ)	未定義
種別13	32バイト(デリミタ)	NV登録状況 256イメージ 対応
種別14	32バイト(固定)	設定一括読み込み
種別15	16バイト(固定)	ヘッド温度エラー回数
種別16	16バイト(固定)	製品シリアル番号
種別17	16バイト(固定)	未定義
種別18	16バイト(固定)	未定義
種別19	8 バイト(固定)	印字完了通知:印字通知設定の指定により、 ドキュメント終了時にジョブID,終了ステータスを記載 上位4バイト=ジョブID 下位4バイト終了ステータス
種別20	8 バイト(固定)	USBシリアルID
種別21	8 バイト(固定)	Fontデータ1バージョン「6バイト」/チェックサム「2バイト」

種別ID	データサイズ	内 容
種別22	8 バイト(固定)	Fontデータ2バージョン「6バイト」/チェックサム「2バイト」
種別23	8 バイト(固定)	未定義
種別24	4 バイト(固定)	NV領域空容量 256イメージ対応
種別25	4 バイト(固定)	転送完了通知: 転送の完了したジョブIDを記載
種別26	4 バイト(固定)	階調NV管理情報
種別27	4 バイト(固定)	NV領域別使用量 256イメージ 対応
種別28	2 バイト(固定)	F/Wチェックサム
種別29	2 バイト(固定)	バックアップF/Wチェックサム
種別30	2 バイト(固定)	NV登録状況 3イメージ対応
種別31	2 バイト(固定)	通信状態情報: USB: 0x0000固定 COM: 1バイト目CTS 2バイト目DSR ※更新フラグに最終信号状況取得タイムスタンプ
種別32	12バイト(固定)	＜汎用情報 8バイト＞ 0バイト目=サブID、1～3バイト目=00h固定、 4～11バイト目 汎用情報
種別33	8バイト(固定)	＜汎用情報 4バイト＞ 0バイト目=サブID、1～3バイト目=00h固定、 4～ 7バイト目 汎用情報
種別34	4バイト(固定)	＜汎用情報 2バイト＞ 0バイト目=サブID、1バイト目=00h固定、 2～ 3バイト目 汎用情報
種別35	8 バイト (固定)	未定義
種別36	8 バイト (固定)	未定義
種別37	4 バイト (固定)	未定義
種別38	4 バイト (固定)	未定義
種別39	2 バイト (固定)	未定義
種別40	2 バイト (固定)	未定義

注意

種別25、31を除きプリンタにて機能実装していない情報に付いては取得できた内容に妥当性はありません。
ここで記載した内容が全てのプリンタで使用出来るとは限りません。

Printerオプション(メモリスイッチ) プリンタのメモリスイッチの設定を行ないます。

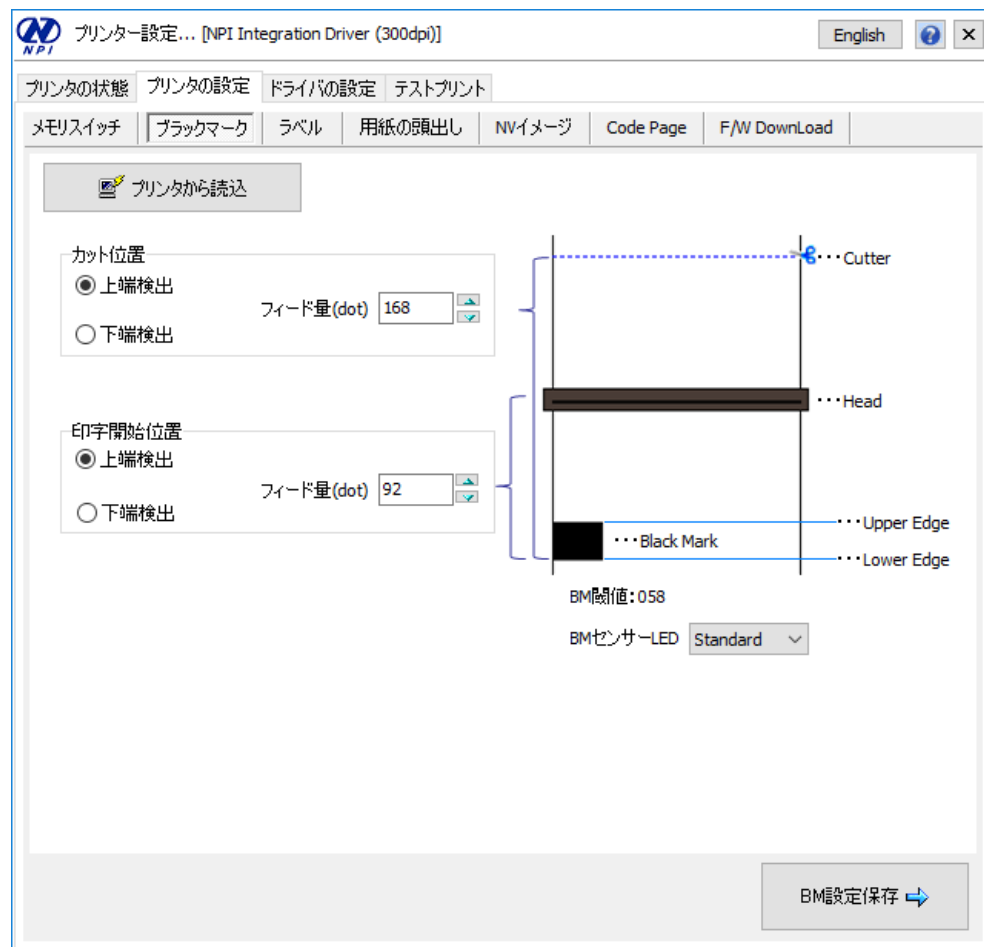


項目名	値
プリンタから読込	プリンタの現在の設定内容を読み込みます。
設定内容印刷	プリンタの現在の設定内容を印字します。
プリンタへ書き込み	設定されている内容をプリンタに送り、 プリンタの設定を変更します。

Printerオプション(ブラックマーク)

プリンタのブラックマークの設定を行ないます。

※ブラックマークセンサーはプリンタのオプションパーツです。

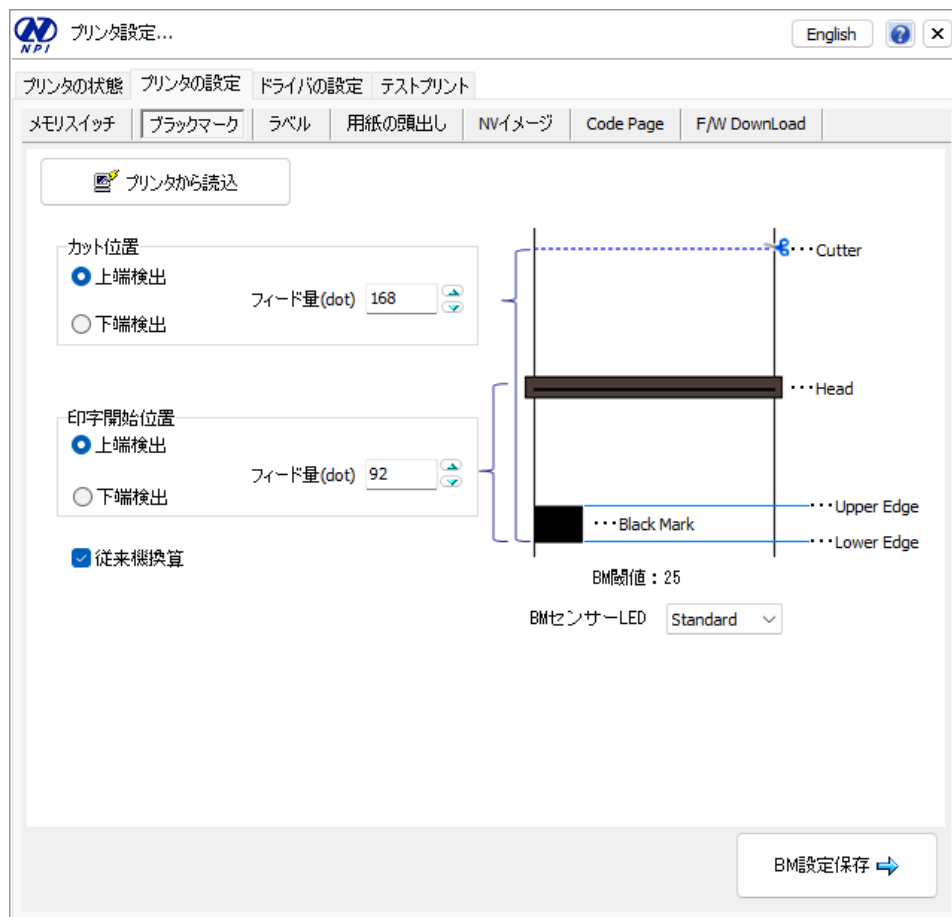


項目名	値
プリンタから読込	現在接続されているプリンタのブラックマーク設定を取得します。
印字開始位置	ブラックマークセンシング後の位置合わせを印字開始位置に指定された時に有効になります。 ※ドライバーのブラックマークセンシングはこちらの値が使用されます。
上端検出	ブラックマークの上端でマーク検出を行います。
下端検出	ブラックマークの下端でマーク検出を行います。
フィード量	ブラックマークセンシング後の位置補正を指定します。 設定可能な範囲は -32767 ~ 32767 、 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います

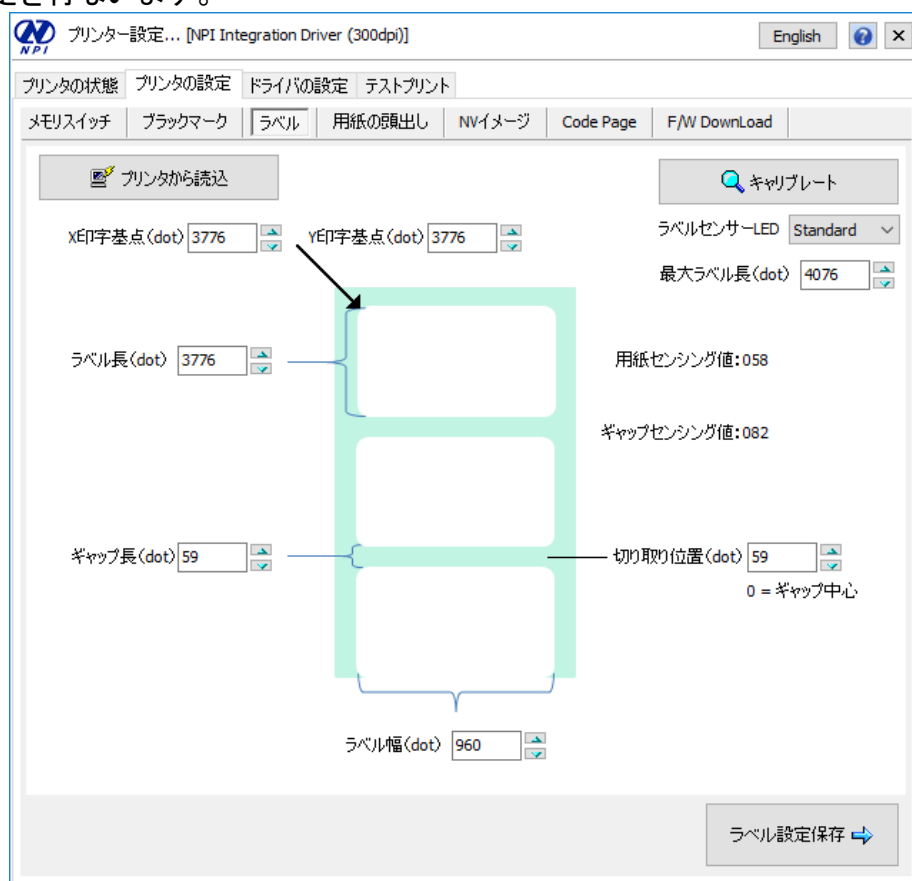
項目名		値
カット位置		ブラックマークセンシング後の位置合わせをカット位置に指定された時に有効になります。
	上端検出	ブラックマークの上端でマーク検出を行います。
	下端検出	ブラックマークの下端でマーク検出を行います。
	フィード量	ブラックマークセンシング後の位置補正を指定します。 設定可能な範囲は -32767 ~ 32767 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
BM閾値		ブラックマークセンサーの閾値です。 設定可能な範囲は 0 ~ 100
BMセンサーLED		ブラックマークセンサーLEDの発光量を設定します。
BM設定保存		指定されたブラックマーク設定をプリンタに送り、 プリンタの設定を変更します。

Printerオプション(ブラックマーク) Revision 4プリンタ

従来機換算チェックボックスが表示されている場合、従来機の設定値でフィード量を設定できます。
従来機とは、NP-3511/NP-3611等、カット位置のフィード量が168dot、
印字開始位置のフィード量が92dotが初期値のプリンタを指します。
※ブラックマークセンサーはプリンタのオプションパーツです。



Printerオプション(ラベル) ラベル設定を行ないます。



項目名	値
プリンタから読込	現在接続されているプリンタのラベル設定を取得します。
キャリブプレート	キャリブプレートを行います。
ラベルセンサーLED	ラベルセンサーLEDの発光量を設定します。
X印字基点(dot)	ラベルのイメージの位置を横方向にシフトします。 設定可能な範囲は -9999 ~ 9999 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
Y印字基点(dot)	ラベルのイメージの位置を縦方向にシフトします。 設定可能な範囲は -120 ~ 120 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
最大ラベル長(dot)	ラベルを検出する長さを設定します。 設定可能な範囲は 0 ~ 4076 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います

項目名	値
ラベル長	ラベル長を指定します。 設定可能な範囲は 1 ~ 3776 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
用紙センシング値	キャリブレーションで測定された用紙部のセンシング値です。
ギャップセンシング値	キャリブレーションで測定されたギャップ部のセンシング値です。
ギャップ長	ラベル間のギャップ長を指定します。 設定可能な範囲は 1 ~ 255 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
切り取り位置 (dot)	切り取り位置を指定します。 設定可能な範囲は -120 ~ 120 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
ラベル幅 (dot)	ラベルの幅を指定します。 設定可能な範囲は 0 ~ 960 ※プリンタ毎に利用可能な範囲が違います
ラベル設定保存	指定されたラベル設定をプリンタに送り、 プリンタの設定を変更します。

Printerオプション(用紙の頭出し)

用紙セット時の頭出しの設定を行ないます。

ラベルプリンタ時とそれ以外で表示が変わります。

※ブラックマークセンサーはプリンタのオプションパーツです。

ラベルプリンタ時

項目を空白にして設定保存を行うことでその項目の動作は無効となります。

設定できる頭出し動作はモードにより異なります。

詳細はコマンドリファレンスの頭出し動作《GS FF n》の項目をご確認ください。

項目名	値
プリンタから読み込み	現在接続されているプリンタの頭出し動作設定を取得します。
センサータイプ	BMセンサー,GAPセンサーのどちらを使用するかを指定します。 標準モード時はBMマークから変更はできません。
用紙セット時の頭出し処理	用紙をセットした時のプリンタの動作を指定します。
オートローディング後の頭出し動作	用紙をオートローディングした時にセンシングを行うか指定します。

項目名		値
	サーマルヘッド カバー開閉後の 頭出し動作	カバーを開閉した時にセンシングを行うか指定します。
	Feedスイッチ押下 後の頭出し動作	プリンタのFeedボタンを押した後に センシングを行うか指定します。
	電源投入時の動作	電源投入時にセンシングを行うか指定します。
頭出し設定保存		指定された頭出し設定をプリンタに送り、 プリンタの設定を変更します。

ラベルプリンタ以外の場合

頭出し時に行う動作の有無をタイミングごとに別々に設定することが出来ます。

プリンター設定... [NPI Integration Driver]

English ? X

プリンタの状態 プリンタの設定 ドライバの設定 テストプリント

メモリスイッチ ブラックマーク ラベル 用紙の頭出し NVイメージ Code Page F/W Download

プリンタから読み込み

用紙セット時の頭だし処理

オートローディング後の頭出し動作 ☐ 有効 ☒ 無効

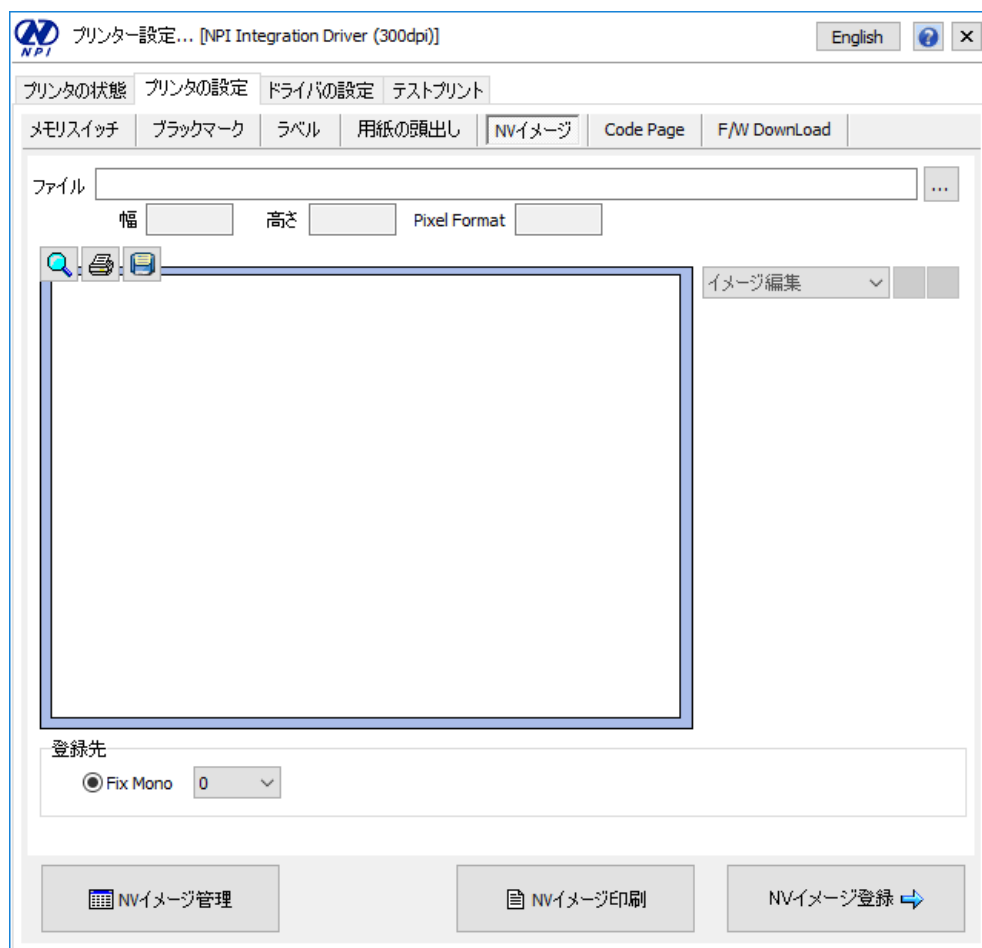
サーマルヘッドカバー開閉後の頭出し動作 ☐ 有効 ☒ 無効

Feedスイッチ押下後の頭出し動作 ☐ 有効 ☒ 無効

頭出し設定保存 ➡

プリンタ設定 — NVイメージ登録

プリンタのNVメモリにイメージを登録、テスト印字するツールです。



ロゴファイルについて

用意するロゴファイルの大きさは、プリンタの製品仕様書の解像度により変わります。

例：プリンタ解像度:203dpi

幅:30mm

高さ 15mm のロゴを印刷したい場合は、

以下の計算でロゴファイルの大きさを計算します。

ドット換算値 = $25.4(\text{inch}) \div \text{解像度 (dpi)}$

$0.125 = 25.4 \div 203 ;$

※小数点第4位四捨五入

イメージの幅 (ドット数) = 幅(mm) \div ドット換算値

$240 = 30 \div 0.125$

イメージの高さ (ドット数) = 高さ(mm) \div ドット換算値

$120 = 15 \div 0.125$

240 × 120 ドット のロゴファイルとなります。

操作説明

1. イメージのファイル名を絶対パスで指定します。
[...]ボタンをクリックする事で読込ダイアログからの指定が出来ます。
使用できるイメージの拡張子はjpg(jpeg)、png、bmp、gif、tif(tiff)の5種類です。
2. 登録先(Mono【0-2/0-255】,Gradiation【0-24】,Water Markを選択します。
4. [NVイメージ登録]ボタンをクリックしてNVイメージを登録します。

画面説明

●[NVイメージ印刷]ボタン

登録先がMonoを選択しており、256個のNV登録に対応していないプリンターの場合：
登録済の3パターンの定型ビットイメージとウォーターマーク(プリンターが実装している時のみ)を印刷します。

登録先がMonoを選択しており、256個のNV登録に対応しているプリンターの場合：
選択中の登録番号の定型ビットイメージを印刷します。ブランクを選択した時は、登録されている定型ビットイメージを全て印字します。

登録先がGradationを選択しており、階調NV登録に対応しているプリンターの場合：
選択中の登録番号の階調定型ビットイメージを印刷します。ブランクを選択した時は、登録されている階調定型ビットイメージを全て印字します。

●[保存状態に戻す]ボタン

初期データに戻します。

●[アンドゥ]ボタン

前回に作業した内容を一度だけ取り消します。

●[リドゥ]ボタン

[アンドゥ]ボタンで取消した内容に戻します。

●[回転]ボタン

指定されている方向及び角度でイメージを回転させます。

●[リサイズ]ボタン

指定された値(パーセント又はドット)にイメージをリサイズします。

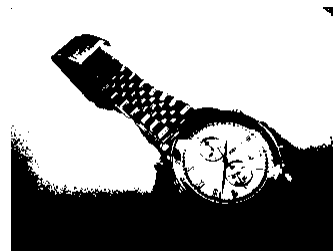
※)比率保持がチェックされている時はイメージの縦横比を維持します。

●[2値化]ボタン

イメージを白黒表現にします。



元イメージ



変換後イメージ

●[パターンニング]ボタン

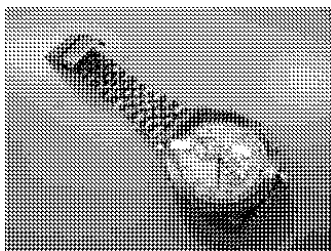
イメージを16階調のパターン表現にします。

固定: イメージを固定値により16階調のパターン表現にします。

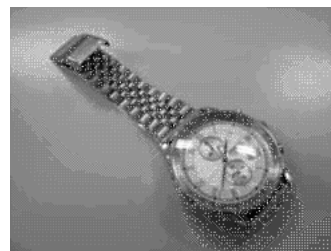
可変: イメージを色の発生密度により16階調のパターン表現にします。



元イメージ



変換後イメージ
固定

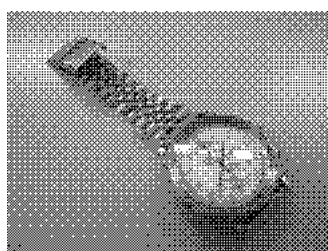


変換後イメージ
階調用

- [明るさ]ボタン
指定された±値で明るさを変更します
- [コントラスト]ボタン
指定された±値でコントラストを変更します
- [ハーフトーン]ボタン
イメージを特定フィルターにて変換した表現にします。



元イメージ

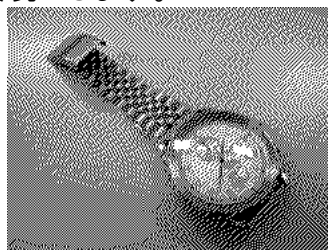


変換後イメージ

- [誤差拡散]ボタン
イメージを誤差拡散法にて変換した表現にします。



元イメージ



変換後イメージ

参考

本ツールで簡易イメージ変更機能を実装していますが、専用ツールで、あらかじめ白黒または目的の階調でデザインを行う事をお勧めします。

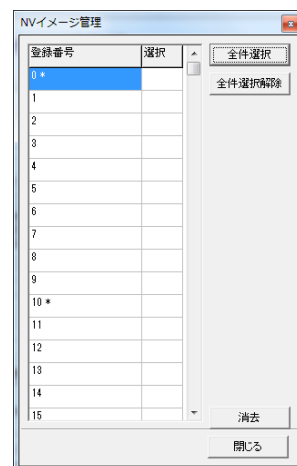
- [NVイメージ管理]ボタン
選択されている登録先のNVイメージ管理画面を表示します。
NVイメージ管理画面では登録されている番号と保存位置(階調NVイメージの時のみ)を確認と、対象のNVイメージの削除が行えます。

※) Monoの時には登録番号の後ろに*がついている番号はNVイメージが登録されています。

※) 階調の時には登録番号が表示されているもののみがNVイメージが登録されています。

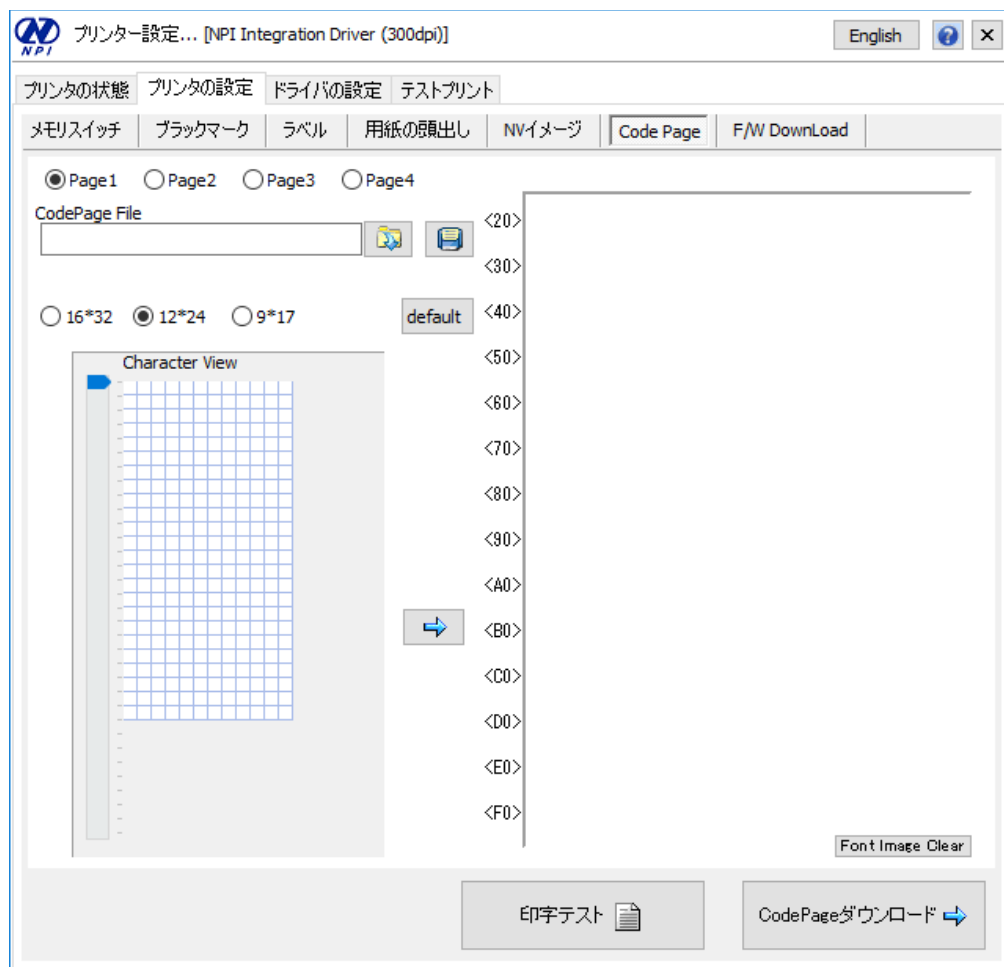
注意

階調の時には大きいイメージ登録には連続した領域が必要となります。連続した領域が確保できない場合には領域不足として登録されません




プリンタ設定 — コードページ登録



ユーザーコードページの登録及び編集、印字テストを行うツールです。



操作説明

1. コードページファイルを。[]ボタンから指定します。
コードページファイルはFontA(12*24)=192×336 FontB(8*16)=128×224の
白黒のビットマップファイルか、バイナリーファイルが扱えます。
2. [CodePageダウンロード]ボタンをクリックしてユーザーコードページに登録します。

画面説明

- [] ボタン
コードページファイルを開きます。
- [] ボタン
CodePageFileに指定されているファイル名(絶対パス指定)に編集集中のフォントイメージを保存します。
- [Character View]
右側の文字一覧イメージの特定文字をダブルクリックすると表示されます。
ここで各文字毎の編集も可能です。
マウス右クリック: 白
マウス左クリック: 黒
- [文字サイズ]
12*24又は8*16を選択します。
12*24はFont A として扱われます。
8*16はFont Cとして扱われます。
- [文字一覧イメージ]
編集集中のフォントイメージを表示します。
特定の文字上でダブルクリックする事でCharacter Viewに拡大表示され、編集が可能になります。
- [Grid Show/Hide]
文字一覧イメージ上のグリッドの表示/非表示を切り替えます
- [CodePageダウンロード]
編集集中のフォントイメージをプリンタに登録します。
- [印字テスト]
現在登録されているユーザーコードページのキャラクタを全て印刷します。

※コードページの印字テストを行うと以降の文字コードテーブルはコマンドにより変更されるまでUSER Code Pageとなります。

プリンタ設定 — F/Wダウンロード

プリンタにF/Wをダウンロードするツールです。

注意

F/Wアップデートはお客様の責任において行うサービスです。
アップデートによってカードが故障した場合、有償での修理となります。

参考

ファームウェアダウンロード中に終了を行うとF/Wが正しく書込みされない為、
ファームウェアダウンロード中の終了は行わないでください。

操作説明

●F/Wダウンロード(On Line)

1. [テストページの印刷]でプリンタに対して正常に接続が確立されているか確認してください。
2. F/Wダウンロード前の接続プリンタ情報を取得してください。
3. 対象のファームウェアファイルを指定してください。
4. ファームウェアファイル、バージョン情報が合っている事を確認してください。
5. [F/Wダウンロード]ボタンをクリックして、F/Wダウンロードを開始します。

- ダウンロードが開始されると、プリンタのALMランプが点滅を開始します。
その後点灯と、点滅を繰り返し、最後にリセットが実行され、
F/Wダウンロードが完了します。

参考

途中で、点滅のタイミングが、遅い点滅になった時は、F/Wダウンロードにプリンタが失敗した状態ですので、[キャンセル]ボタンをクリックして送信を停止してください。そして、プリンタの電源を切って、ファームウェアダウンロードを終了させてください。

参考

プリンタを強制ダウンロードにした状態で、OnLineからダウンロードすると、フリーズ状態になります。この時には、[キャンセル]ボタンをクリックして送信を停止してください。一度プリンタの電源を切って、本画面を終了させ強制ダウンロードの手順で、ダウンロードしてください。

- 正常にダウンロードが完了しましたら、接続プリンタ情報を取得するか、自己印字を出力して新しいF/Wに書き換わっていることを確認してください。

●F/Wダウンロード(強制ダウンロード)

- PCとプリンタ間の通信設定が合っている事を確認してください。
- プリンタを強制ダウンロードモードで起動してください。
プリンタのALMランプが点滅します。
強制ダウンロードモードでの起動方法はプリンタの製品仕様を参照してください。
- [強制ダウンロード]をチェックしてください。
- 対象のファームウェアファイルを指定してください。
- ファームウェアファイル、バージョン情報が合っている事を確認してください。
- [F/Wダウンロード]ボタンをクリックして、F/Wダウンロードを開始します。
- ダウンロードが開始されると、プリンタのALMランプが点滅から点灯に変わります。その後点灯状態が続き、最後にリセットが実行され、F/Wダウンロードが完了します。プリンタの電源を一度切ってからご利用ください。

注意

事前にプリンタの設定→Controlオプション内のエラー時動作の強制出力にチェックを入れておく必要があります。チェックをいれずに使用されると、F/Wデータが送信されない場合があります。

●[接続プリンタ情報]項目

[取得]ボタンをクリックする事により、下記内容の情報を取得する事が出来ます。

- ◆モデル情報
- ◆F/Wバージョン情報
- ◆Bootバージョン情報

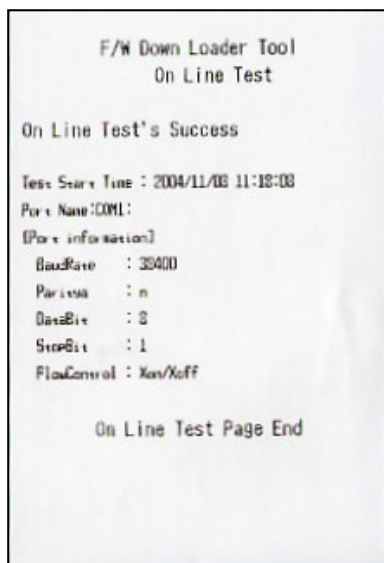
●[ファームウェアファイル:]&[バージョン情報:]項目

選択された対象のファームウェアファイルの内容を表示致します。

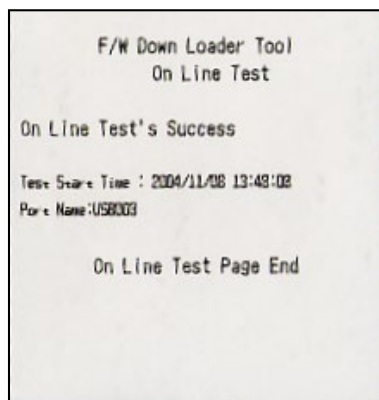
- [テストページの印刷] ボタン
通信設定が合っている事を確認する為、印刷を行います。
プリンタドライバ通信設定により下記印字サンプルが印刷されます。

印字サンプル

シリアル接続



シリアル以外の接続



- [F/Wダウンロード] ボタン
F/Wダウンロードを行います。
- [キャンセル] ボタン
送信を停止します。

注意

キャンセル時はF/Wが正しく書込みされていませんので
御注意ください。


- [ダウンロード状況] バー
送信状況を表示致します。

注意

バーが100%まで移動してもF/Wダウンロードが完了していない
場合があります。
プリンタがリセットするまで待ってから電源のOFF/ONやケーブルを
抜いてください。

Controlオプション

ログ設定、エラー時動作の指定をします。

 プリンター設定... [NPI Integration Driver]

English ? X

プリンタの状態

プリンタの設定

ドライバの設定

テストプリント

エラー時動作

☒ 強制出力

☐ Bit4をエラーとする

☐ Bit5をエラーとする

☒ Bit4をエラーとする

☒ Bit3をエラーとする

☐ ニアエンドをエラーとする

シリアル通信設定

☒ OFFLINE判定を有効にする

☐ OFFLINE判定をしない

☐ ステータス受信状況で判断する

メール通知

SMTP Server

ID

PASS

送信元アドレス

送信先アドレス

通知条件

☐ Bit7 On

☐ Bit6 On

☐ Bit5 On

☐ Bit4 On

☐ Bit3 On

☐ Bit2 On

☐ Bit1 On

☐ Bit0 On

プリンタ機能情報エクスポート

プリンタ機能情報インポート

プリンタ機能情報のクリア

※設定を行うとスプーラーの再起動が行われます

キャンセル

設定

項目名	値
設定	現在の状況を保存します。
キャンセル	編集前の状況に戻します。
プリンタ機能情報エクスポート	接続されているプリンタの機能情報をファイルに保存します(共有プリンタでプロパティを有効にするときに利用します)
プリンタ機能情報インポート	プリンタの機能情報をセットします (共有プリンタで利用する時、プロパティを有効にする為に本作業を行います)
プリンタ機能情報クリア	再度プリンタ機能情報を取得しなおす為に利用します

Controlオプション

項目名	値
エラー時動作	プリンターにエラーが発生している時の動作を指定します。
強制出力	プリンターにエラーが発生していても、プリンタへのデータを可能にします。
ニアエンドをエラーとする	プリンターのニアエンドを検出したらエラーとして、プリンターへの送信を停止します。 ※印字中のドキュメントにおいては続けて印字されます。
BitNをエラーとする	プリンターのステータスのBitNを検出したらエラーとして、プリンターへの送信を停止します。
シリアル通信設定	シリアル通信時のOFFLINE判断を指定します。
OFFLINE判定を有効にする	信号線の利用してOFFLINEを判定します
OFFLINEを判定しない	常にONLINEとして動作します
ステータス受信状況で判断します	ステータスが一定時間受信できない時にOFFLINEとします
メール通知	プリンタステータスをリモート監視する時に指定します。
SMTPサーバ	メール送信する時に使用するSMTPサーバを指定します
メールID	メール送信する時のIDを指定します
メールPASS	メールIDに対するパスワードを指定します
送信元メールアドレス	送信元とするメールアドレスと指定します。
送信先メールアドレス	メールを送信する先のメールアドレスを指定します。
通知条件	メール通知したいエラーBitを選択します

プリンタ設定 — テストプリント

任意イメージのテストプリントを作成及び印刷するツールです。

The screenshot shows the 'Printer Settings' window for the NPI Integration Driver, with the 'Test Print' tab selected. The interface includes a top bar with 'English' and window controls. Below the tabs, there are buttons for 'Clear Job Area', 'Open', 'Save with Name', and 'Test Print' (with a 'repeat' counter set to 100). A large 'Comment' text area is on the left. The right side contains a grid of command settings: 'Printer Initialization' (button), 'Print Density' (100%), 'Print Speed' (00), 'Divide Print' (01), 'Presenter Action' (機能OFF排出), 'Auto Eject/Retract Time' (sec), 'LED Buzzer Action' (1), 'Print Start' (フラグ+読捨), 'JOBID' (input field), 'Left Margin' (左揃え), 'Center Margin' (中央揃え), 'Right Margin' (右揃え), 'Font' (A, B, C, D, 階調, 横倍, 縦倍), 'Line' (1, 2, アンダーライン解除), 'Text Data' (Test Sample, 改行), 'Barcode' (UPC-A), 'BitImage' (input field), 'Raster Image' (input field), 'Fixed NV Print' (0), 'NV Print' (0), 'Pattern NV Print' (0), 'Custom Command' (input field), 'BM Sensing' (BM Sensing(切替), dot), 'Feed' (1 mm), 'Back Feed' (1 mm), 'Full Cut' (パーシャルカット), 'Door Open' (2, On Time, Off Time), and 'Print End' (印字終了). A note at the bottom states: '※OFF時間はON時間の4倍以上を指定してください'.

操作説明

●印字サンプル作成&出力

1. 画面右側のコマンド一覧から対象のコマンドを追加して行きます。
2. 追加したコマンドは画面左側のグリッドへ「コマンド名」と「コマンドコード」が表示されます。
※) 削除したいコマンド行(「コマンド名」と「コマンドコード」)がある場合、対象のコマンド行を選択し、[コマンド削除]ボタンをクリックする事により選択したコマンド行のみ削除が行われます。
3. 『テスト印刷』で作成した印字サンプルがプリンタへ出力されます。
※) テスト印刷する前にプリンタに対して正常に接続が確立されているか確認してください。

画面説明

- [ファイル]メニュー
 - ◆ [作業領域クリア(X)]メニュー
グリッド上の印字サンプルをクリアします。
 - ◆ [開く(Y)]メニュー
nsl形式ファイルを選択し、開く事が出来ます。
 - ◆ [名前を付けて保存(Z)]メニュー
作成した印字サンプルをnsl形式ファイルにて名前を付けて保存します。
- [テスト印刷]ボタン
グリッド上の印字サンプルを印字します。
- 画面左側グリッド
追加したコマンドがコマンド名+コマンドコードで表示します。
例: 紙送り10mm+フルカット

Comment	Comm
フィード10mm	1b" J"
フルカット	1b" i"

- [文字データ]ボタン
追加したい文字データを[文字データ]ボタン右側のテキストボックスへ入力後、[文字データ]ボタンをクリックします。
- [バーコード]ボタン
コンボボックスより追加したいバーコード種類選択し、[バーコード]コンボボックス右側のテキストボックスへ入力後、[バーコード]ボタンをクリックします。

参考

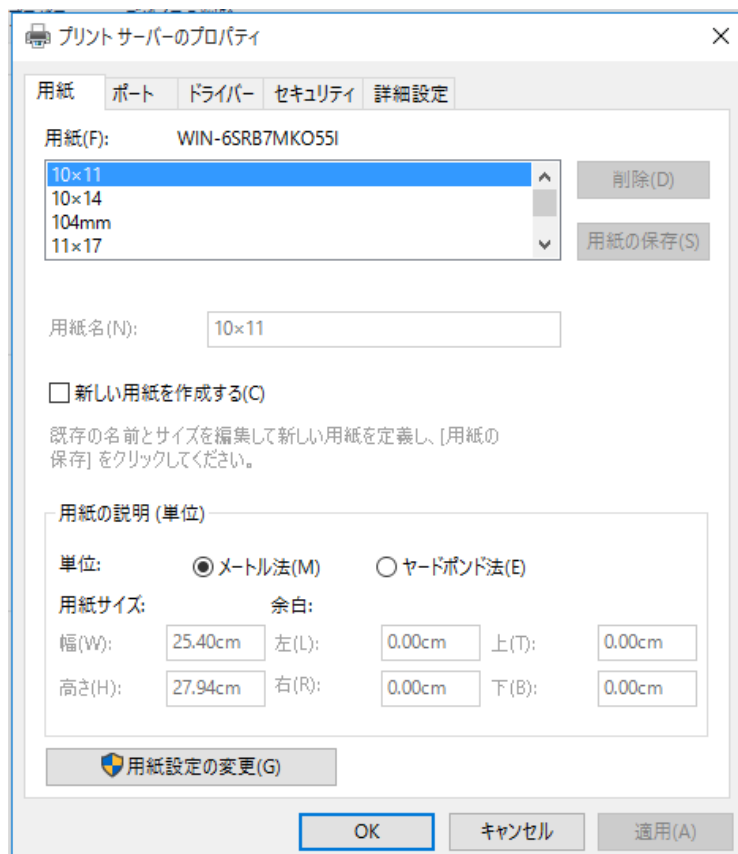
データは各バーコードのデータ条件に沿って入力してください。

- [BitImage]ボタン/[Raster Image]ボタン
[...]ボタンをクリックするとダイアロボックスが表示します。
対象のイメージを選択してください。テキストボックスにパス名が表示します。
[BitImage]ボタン/[Raster Image]ボタンをクリックする事によりグリッドに追加されます。
- [コマンド削除]ボタン
削除したいコマンド行へフォーカスを移動します。
[コマンド削除]ボタンをクリックすると削除されます。

※)他のボタンは、プリンタの製品仕様書のプリンタコマンドを参照してください。

カスタム用紙の作成

プリンタとFAXウィンドウから、[ファイル(F)]メニューの[サーバーのプロパティ(V)]コマンドを実行すると、「プリンタサーバのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



1. 使用する用紙に近い用紙を選択し、「新しい用紙を作成する(C)」をチェックします。
2. 任意の用紙名、用紙の幅、高さ等を指定します。
3. 用紙の保存

注意

重複した用紙名を指定すると元の用紙の設定は無くなります。

参考

固定サイズの用紙のみをサポートしているアプリケーションにおいては、カスタム用紙を作成のうえアプリケーションを利用いただくことで、印刷プレビューと同様の印刷が可能となります

本章では、NPI Integration Driver の制限事項について説明します。
環境、OS の設定

1. 「.net Framework2.0」以降の適用が必要です
2. NPrinterLib.dll/NiiPrinerLib.dll を、「.net FramWork1.1」でご使用になる際にはエラー抑制をアプリケーションにて行っていただく必要がある場合があります。
3. シリアル接続の場合、OSの起動時、Sleepまたは休止状態から復帰した時に、“??”が印刷されることがあります。
4. [詳細設定]の「詳細な印刷機能を有効にする」をONでご使用ください(EMFスプール設定)。
5. マルチユーザー環境での動作は保証できません。
6. リソースの予約名
Shared memory : Global¥¥SHMEM/ . . . /monitor/status
この名称のうち、“ . . . ”の部分には、各プリンタ名が入ります。
7. 複数のプリンタドライバを同一ポートに割り当てた場合、正確なステータスは取得できません。
8. 対象のプリンタに対して直接通信でプリンタ制御をしている場合、正確なステータスは取得できません。
9. ドライバのセットアップに付いては管理者権限のあるユーザにて行ってください。
10. 共有プリンタでの使用においては、ユーザー切り替えは対応しておりません。
11. ポートに対するIN/OUTのログ機能がありますが、入出力を保障する物ではありません。
12. 生成したログファイルにおいて、ログファイルへの出力中にファイルを開いた場合データが存在しない場合があります。
13. NPI_UnInstaller.exeによる削除で64bit環境下では、NPIDelDev.exeを使用する為、64bit環境では、NPI_UnInstaller.exeとNPIDelDev.exeを同じフォルダに配置して使用してください
14. シリアル通信において、プリンタの電源OFF/ON（ソフトリセット含む）を繰り返した場合に、一時的にオフラインとして判定する場合があります。
15. 本ドライバにおいて設定可能な項目でも、プリンターとしてサポートしていない場合があります
16. NPIUnInstaller.exeを利用する時には管理者権限が必要となります
17. NPIUnInstaller.exeでプリンタードライバを削除した際に、再起動後等に
再度プリンタードライバがインストールされている状態に戻ることがあります。
この現象が発生した場合には、デバイスとプリンターの画面から、
デバイスの削除、サーバープロパティからのドライバの削除を行ってください
18. 本ドライバを再度インストールする場合は、PCを再起動してから行ってください。
19. Bluetooth接続での複数台使用および、Bluetooth接続とCOM接続を組合せた複数台使用はできませんので予めご了承ください。
20. TCP/IPポートをご利用になる時にはSetupツールで作成されポート名の変更は行わないでください
21. ライブラリでドライバと同一のポートへの直接通信を行った場合通信は保証されません
22. Bluetooth接続にて『ONLINE状態からOFFLINE状態』『OFFLINE状態からONLINE状態』に切り替わるまでに約5秒～60秒(場合により60秒以上)かかる恐れがありますので予めご了承ください。
(ONLINE/OFFLINEの切り替えは、状態表示にて確認してください。)
23. 接続時ドライバによってステータス受信を行います。
24. プリンタ名の変更を行った時にはスプーラの再起動が必要になります。
25. NEX-C200につきましては、FWバージョン1.01以降で対応となります。
※1.00では旧バージョンの1.0.8.0の統合ドライバをご利用ください
26. 書式設定内の色の管理におけるイメージ変換機能をご利用になる場合には詳細設定のカラー印刷モードをグレースケールにする事でご利用になれますが、印字券面長が正しく処理されない場合があります
27. 管理者権限が付与されていないアプリでSDKを利用した際、ステータス取得が行えない場合があります。
28. 1つのプリンタに対して複数インターフェースのドライバセットアップを行った場合、同時利用はサポートしていません。